

特集

ひとつのきっかけで…

どのようにして「一本杉通り」に「花嫁のれん展」が誕生したのだろうか。
「花嫁のれん展」が実現し、「一本杉通り」に何が生まれたのか。
一本杉通りで生まれたものが、各地域のまちづくりに共通したものがあ
るのではないだろうか。
今月号の特集は、住民が主体となったまちづくりを考える。





花嫁のれん

加賀藩の領地である加賀・能登・越中に見られる風習。花嫁が嫁入りのときに、実家の家紋を入れた花嫁のれんを、嫁ぎ先の仏間の入口にかける。花嫁は仏前で手を合わせ、お参りをしてから結婚式が始まる。